

発行日:平成26年5月1日(四半期発行)
介護老人保健施設ケアポート・田谷機関紙
〒244-0844 横浜市栄区田谷町2030-3
TEL:045-858-5882
発行責任者:吉田憲一

看護課長より御家族の皆様へ¹

桜の花が終わり、新緑の季節となりました。施設の窓からは美しい若葉がみられます。昨年9月より看護課長を拝命いたしました宮崎です。

施設の看護師は基本的には、御利用者の医療処置、健康管理等を行っています。

日々の生活を利用者様と一緒に過ごしている中で、御家族の方々にお願いがあります。

①介護施設とは病院とは違い、治療の場ではなく生活の場です。よって施設では対応出来る症例が限られ、対応困難な症例の場合は病院に受診、救急搬送となってしまいます。その都度御家族へ連絡等行っています。

急な場合が多いのですが、治療方針、検査の承諾等、施設の職員のみでは対応困難な場合がありますので、御家族も付添をお願いいたします。

②面会、外出等のお願い。職員がいくら関わっても、御家族の方が訪ねてきた時の笑顔にはかないません。会いにきて頂ける様、よろしくお願いいいたします。また、施設の生活は単調です。なるべく外出レクリエーションを企画したく思っていますが、思う様に外出機会を増やす事ができませんので、御家族の御協力の程、よろしくお願いいいたします。

職員、御家族が一緒になり、利用者様の生活の質の向上を考えていきたいと思います。

看護課長：宮崎



河津桜、染井吉野、八重桜。今年も春の訪れを告げる桜の花々が次々と咲き乱れ、町中を桜色に染め上げていました。そして季節を表す淡い色合いが、人々の眼差しをはぐらかす様に消えていく頃、力強く生命力をみなぎらせた萌木色が、自己主張の強い季節の到来を告げようとしています。ケアポート・田谷からの眺めも、季節の移り変わりを色々な表情で伝えてくれます。施設を訪れた御家族の皆様、ぜひ利用者様と一緒に外の景色を眺めてみて下さい。目に映る様々な色合い、耳から聞こえる鳥のさえずり、忘れがちな屋外の香り、頬にあたる爽やかな風。お口の中は...何かおいしい差し入れでもお願いします。

紙面では、毎年恒例の季節を肌で感じるイベントをお伝えします。ぜひご覧ください。



今年の桜

4月3日に3階利用者様の御花見を予定しておりましたが…

今年は生憎の雨模様で、ドリームランド跡地の桜を見ながらドライブです。

車内から見る桜も雨に濡れて風情はありますが、やはり桜は晴れた空の下の方が綺麗に見えたでしょうね。

それでも久しぶりの外出レクですので、利用者様も外の景色を笑顔で眺めていらっしゃいました。普段、笑顔が見られない利用者様がリラックスした表情で、ニコニコされていたのには驚きました。

僅かな時間のドライブでしたが、4月3日の昼食はイベント食の「お花見弁当」桜を眺めた後ですので、季節感は増したと思います。



前日までの天気と違い、少し肌寒さを感じた今年の花見。ゆっくりと見て頂けなかったのは残念ですが、これも思い出の一つになれば良いと私達職員は思います。

来年は天氣にも恵まれて、今年よりもっと良い御花見ができるかな？

雨空の下、風吹く中、晴れた空の下…

たとえ天気が違っても、今年の桜は今年だけ。

来年の桜にも期待しますが、今年の桜も綺麗でしたよね。

3階介護：斎藤

亀吉君とのお花見

4月8日、千秀公園にてお花見を実施いたしました。昨年度は少し肌寒く、利用者様にも御負担をかけてしまいました。しかし今年度は、晴天となりとても楽しい時間を過ごせる事が出来ました。利用者様の中には、「お花見なんて、私はいいわ」と、言われる方もいらっしゃれば、「是非私も参加したい」



とのご希望もあり、毎年御希望に添えるよう努力しております。ただ全員お連れする事が出来ず、毎年の事ながら残念に思います。

公園では小さなお子様に笑顔で話し掛ける姿や、池や草木を熱心に観賞されていて、大変満足されている様子があり、とても嬉しく思いました。たまたま通り掛かった散歩中の方が、私達に気付きペットの亀(亀吉君)を見せて下さいました。思わぬ出来事に皆様大変喜ばれていました。とても充実した時間を過ごさせて頂き、私達職員も楽しいお花見の会となり励みになりました。

また、利用者の方々に喜んで頂ける様な企画を、計画していきたいと思います。

2階介護：徳増



桜の表情

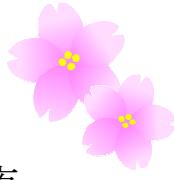


ディケアの今年のお花見は谷戸池公園に行きました。時間は一時間程度とりました。送迎車に乗り込み目的地まで行き、公園で桜を見ながらゆっくりと過ごしました。この時期なので、他の利用客もおり、大変賑わっていました。利用者の皆様が上を見上げ自然と笑顔となっているようでした。職員も皆桜の姿にとても感動していました。



雨の日もあったので、ドライブ中心のお花見も行いました。車中では、皆で沢山会話もでき、また町中の沢山の桜を探すゲームのような感覚でそれもまた、楽しかったように思われます。コースとしては、先の谷戸池を周り、大船駅周辺を回ってきました。晴れの日も雨の日も、桜がいつも違った顔を見せてくれて、とても楽しくまた元気を貰った様に感じます。

また来年もお花見の時期が来るのが、とても楽しみです。



私事になりますが、先月家族で千秀公園に夜桜を見に行きました。夜桜もとても良いもので、外灯に照らされた満開の桜は、とても味わいあるものでした。それに引き替え私の子供達といえば、桜はそっちのけで、公園を走り回っていました。私も一

緒に走られ、子供たちのパワーに圧倒されヘトヘトになつた自分がそこにいましたが、とても楽しい夜

でした。花見は本当にいいものですね。

いつも桜が元気を与えてくれるように感じます。またお花見だけでなく、外出できる機会を設けられればいいと思いました。

通所リハ: 上野



もの作り。生きがい作り。

もの作り。生きがい作り。

て下さい。どんな部分がリハビリになるのでしょうか？考えをまとめてから、この先を読み進めて頂ければと思います。

では、

寝ている時間を減らし、活動する時間を少しでも増やす事がリハビリ。動かし辛い手を一生懸命使う事がリハビリ。

作るにあたって、色々な創意工夫をするなど、考える事がリハビリ。物作りを行いながら、職員や周りの方々とお話をすると事がリハビリ。

他にどんなリハビリを想像しましたか？色々な考えが浮かんだと思します。それはきっとどれも正解です。物作りがもたらす、普段の施設生活では行えない部分、それはすべてリハビリに当てはまると思います。では、ここでもう一つ考えて頂きたいと思います。リハビリという言葉を聞いて、我々理学療法士や



作業療法士、言語聴覚士が行う個別リハビリを想像する方も多いと思いますが、個別リハビリと作業活動。ともにリハビリですが同じでしょうか？それとも何か違うのでしょうか？もう一度、考えてみて下さい。

では、

ともに体を動かすのだから、同じリハビリ？

片や自分の体を動かす事を目的に行い、片や作品を作ることを目的に行っているのだから違うリハビリ？



如何でしょうか？先ほどと比べると難しいですね。正解は、同じであって違うもの。どこに主眼を置くかで、どちらにでも成り得るものです。大雑把に体を動かすという点では、ともに同じ事になります。気になるのは違う部分ですね。それでは個別リハビリと称される機能訓練から、簡単に説明させて頂きたいと思います。

機能訓練とは、寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩くなど、人間の動きを再びもしくは新たに獲得するためのトレーニングとなります。よくリハビリ室で見かける光景ですよね。これらの動きは生活の中では目的を達するための手段となります。“遊びに行くために歩く”など。この場合は“遊び”が目的で、“歩く”は手段です。そのため歩くことが困難な場合は、別の手段として車いすの練習をすることになります。お解りになられましたか？個別リハビリは概ね目的動作のトレーニングではなく、手段のトレーニングになります。そして、生きていくうえで大事なのは目的動作です。その部分が、時折リハビリのやる気の違いとして表れることがあります。○○に行きたいから歩く練習を頑張ると言う人と、練習したって疲れるだけだからやらない等。この目的動作を見つけることが機能訓練では非常に難しいのです。

それに対し作業活動は、目的動作として成り得る物です。作品の完成を夢見て、移動します。一生懸命手を動かします。より良い作品を作るために、個別リハビリでも手の練習を頑張ります。そして、その他にも沢山のリハビリの効果が期待できます。

ただ漠然と日々を過ごしていた方に、未来への楽しみが生まれます。

体を動かす事への目的が生まれます。

御家族や知人から、作品を望まれたり喜ばれる事で、誰かの役に立つという行動価値に気付き、自身の存在価値を高める事ができます。等々。

如何でしょうか？同じリハビリとして実施している事柄でも、内容の違いがお解りになられたでしょうか？生きるための質を高めることに繋がる“生きがい”。これは生涯の楽しみになり得る物を表す言葉だと思います。施設で取り組んでいる作業活動が、利用者様の生きがいになり得るほどの物になることを期待し、これからも実施していきます。

この文章も、問い合わせの形式で作成してみました。先の内容が楽しみと感じて下さった方は、最後まで丁寧に読み進めて頂けたと思います。そうでない方は、端折ってしまわれたのではないかでしょうか、未来への楽しみが現在の行動に与える影響は、こんな身近な部分にも表れます。ぜひ、ご家族様にも利用者様の作品作りへのサポートをお願いしたく思います。

この文章が皆様に喜んで頂けたなら、また頑張って書こうと思うのかなあ...
理学療法士:清家

